

福井連協たより

JP労組福井連協退職者の会

発行責任者 近藤源一郎
編集責任者 塚本 隆

福井連協退職者の会「第8回総会」

〈2022年8月20日(土) 10時00分～ 於：福井教育センター〉

2021年度活動報告・2022年度年度活動計画（案）

I はじめに

2022年1月～2月に3回目のコロナワクチン接種が高齢者を優先に行われ、同時に16歳以下の子供にも接種が開始され、コロナ感染の重症化が減少しました。PCR検査の充実とともに感染者は宿泊療養ホテル、濃厚接触者は自宅療養も選択可能となりました。一方、国産経口薬も治験段階に入り、感染者数も落ち着き、経済活動はコロナ前に少しずつ戻りつつあります。

このような状況下で、通常の形での第8回総会が開催できることを喜びあいたいと思います。本総会の提案期間は1年で役員任期も1年となります。来年の第9回総会からは、役員改選時期を現役のJP労組と歩調を合わせることから提案期間、役員任期は2年となります。これは、支部も同じです。

1年間の活動方針は、2年あまり出来なかった親睦と交流を中心に連協と支部が一体的に取り組み、2年間の空白を取り戻す内容で提案します。

II 具体的な行動

(1) 会員拡大5%以上をめざす

会員の拡大については、会員の死亡による自然減が平均で3%、慶弔会計および慶弔安定化会計の充実、振込手数料の増加への対応、会費免除会員の増加等を考慮すると「会員拡大5%増」は必要不可欠な目標です。現役世代の定年延長を考えると達成は楽な数値ではありませんが、多くの未加入者も存在しているので、定期的に訪問すれば達成可能な目標です。

協力会員の拡大も見逃せない案件です。協力会員の拡大は現役支部役員との協力がなければ結果に結びつかないので、現退の支部間交流による共通の課題として互いに認識するためにもイベントまたは幹事会や執行委員会への参加を促します。

支部の会員拡大目標の設定については以下のとおりとします。

- ア、各支部の目標は2022年8月1日の会員数を基にして設定します。
- イ、拡大期間は第8回総会から第9回総会までとします。
- ウ、各支部は拡大目標の中に女性会員の拡大数を目標に掲げて下さい。
- エ、全支部が「拡大ゼロ」をなくし純増を旨とします。

〈支部別拡大目標〉

支部名	現会員数	拡大目標	女性目安	協力会員目安
福井東部	41人	2人	1人	3人
福 井	60人	3人	1人	3人
福井中部	93人	5人	2人	3人
福井南部	70人	4人	1人	3人
福井連協	264人	14人	5人	12人

(2) 親睦と交流について

本総会の活動期間は1年間です。「おもてなしイベント」は2023年度の行事とします。協賛支部については連協幹事会で協議し第9回総会で明らかにします。

代替措置として、2022年度内に全ての会員を対象とした「親睦交流会」をあわら温泉で開催します。具体的には、連協幹事会で協議し、会報等を通じて周知します。

(3) 支部役員の育成強化について

ア、出前幹事会

2022年度も「出前幹事会」を実施します。目的は会員拡大や活動の苦勞を共有化し情報交換を行うことです。

対象者は支部幹事で一度も出前幹事会に出向していない三役または幹事とし、役員育成に視点をおきます。

支部幹事会 同行計画（案）

支部名	派遣支部	派遣者
福井東部支部	福井中部支部	
福井支部	福井南部支部	
福井中部支部	福井東部支部	
福井南部支部	福井支部	

- (ア) 連協派遣は三役または幹事の中から一人とする。
- (イ) 派遣者には連協で交通費を負担する。
- (ウ) 実施期間は2022年の10月～2023年6月までとする。
- (エ) 昼軽食は連協で負担する。

イ、連協拡大幹事会の開催について

第9回総会までの期間が1年となっており、特別な事情がない限り拡大幹事会は計画しません。

(4) 女性活躍について

2021年度の女性役員は連協幹事に2人、会計監査に2人が歴任し、女性役員参加率は30%（4人）でした。

女性が参加しやすい環境とは女性会員を増やすことが基本で、組織拡大と平行して女性が活躍できるフォローを連協幹事会の課題として取り上げます。支部には最低1人の女性幹事が誕生するように促します。

(5) 財政の在り方について

昨年の総会は慶弔会計の安定化を目的に、地方退職者の会に慶弔会計安定化会計を新設して、連協一般会計から会員1人当たり100円の積立金を拠出することを決めました。地方の安定化会計で3連協の積立金がプールされており、「2025年の財政危機」を乗り切ることとなります。

その一方で、2022年4月から金融機関の「振込手数料」が改定され、法人格の連協退職者の会は毎月1,100円（年13,200円）が一般会計から差し引かれます。両方合わせると年間40,000円相当が一般会計財源から支出となり緊縮財政は避けることができません。

さらに、米寿会員の会費免除の他に要介護会員の会費免除も増えており一般会計の財源を圧迫しています。88歳会費免除、病気。要介護者免除会員をおぎなえるだけの会員拡大を行う必要があります。

厳しい連協財源ですが、従来通り支部に対して補てん・負担を求めません。

(6) 政治活動について

国政選挙は衆議院議員の解散がなければ今後3年間は自公政権が続くと言われていています。そのような中、2023年は統一地方選挙（各自治体選挙）が実施されます。福井連協はJP労組北陸地方本部が推薦した候補者を応援します。

(7) 福井県退職者連合への対応について

退職者連合の各種行事や親睦交流会については、引き続きできる範囲で協力します。会費はJP労組北陸地本で負担しますが、交通費等は連協負担となっています。

福井県退職者連合役員は、引き続き連協幹事会が担います

支部活動報告

「サプライズ歓迎！福井南部支部」

5月23日（月）、福井県退職者連合主催のバスツアーが嶺南観光とグルメ日帰りで行われました。嶺北の各支部から6人が参加しました。年縞博物館、縄文博物館では学芸員から説明があり、古代の歴史を知ることができました。

ランチとは思えない豪華なランチを小浜市のホテルで楽しみました。午後は「お水取り」で有名な神宮寺を参拝し、熊川宿の駐車場にバスが停車すると福井南部支部の古谷明会長、大和伸夫さん、塚本隆さんが大きなプラカードを掲げて出迎え・歓迎し、他産別の退職者の参加者の注目を浴びました。（右記写真は、バスツアーに参加の会員の皆さんです。）



「出前幹事会の福井支部」

5月30日（月）福井支部（山崎治幸会長）は、今年度最後の出前幹事会を福井市内「馬の屋」で、福井中部支部の田中重一さんを迎えて開催しました。会員の安否確認と参議院選挙を棄権しない声かけ、会員拡大150%達成を次年度につなぐことを再確認しました。（左記写真は、出前幹事会の模様です。）